

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

11 月定例会

11月10日(木)当所にて、会員13名、オブザーバー1名、見学者2名、東洋大学学生8名、和光大学学生5名、合計29名の参加を得て開催した。

今回は東洋大学 ライフデザイン学部 教授 浅間正通氏を招きご講演いただいた。テーマは、「デジタルネイティブとデジタルイミгранト～その望ましい関わり方～」。

デジタルネイティブとは、生まれながらにしてデジタル機器に親しんでいる世代、デジタルイミгранトとは、人生の途中からそれらに馴染み親しむようになった世代として称されている。日本では、インターネットの商用化が普及し始めた 1990 年代以降生まれがデジタルネイティブに当たる。デジタル製品にどっぷり浸かって暮らす生活は便利そのものであるが、果たして日常の暮らしは豊かになったのだ

ろうかと、講師は投げかける。一時相次いだネット自殺を例にあげ、人間関係の希薄化とパーソナルスペースのいびつな進展を指摘された。また、フィンランドがIT大国でありながら生活満足度が高く「いじめ」も減少したという調査結果を示し、結果そのものよりもそこに至るプロセスを大切にする Miksi 思想（ミクシ：フィンランド語で「何故」と教育方法について説明された。そして講師の経験を交えながら、常に「何故」を意識し「気づき」を促す重要性が語られた。最後に、従業員教育の現場でも活用できるとし、参加者は終始熱心に耳を傾けた。

その後、場所を移し懇親会を実施、講師も同席され、終始和やかな雰囲気でお話された。



講演風景



懇親会風景

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191